

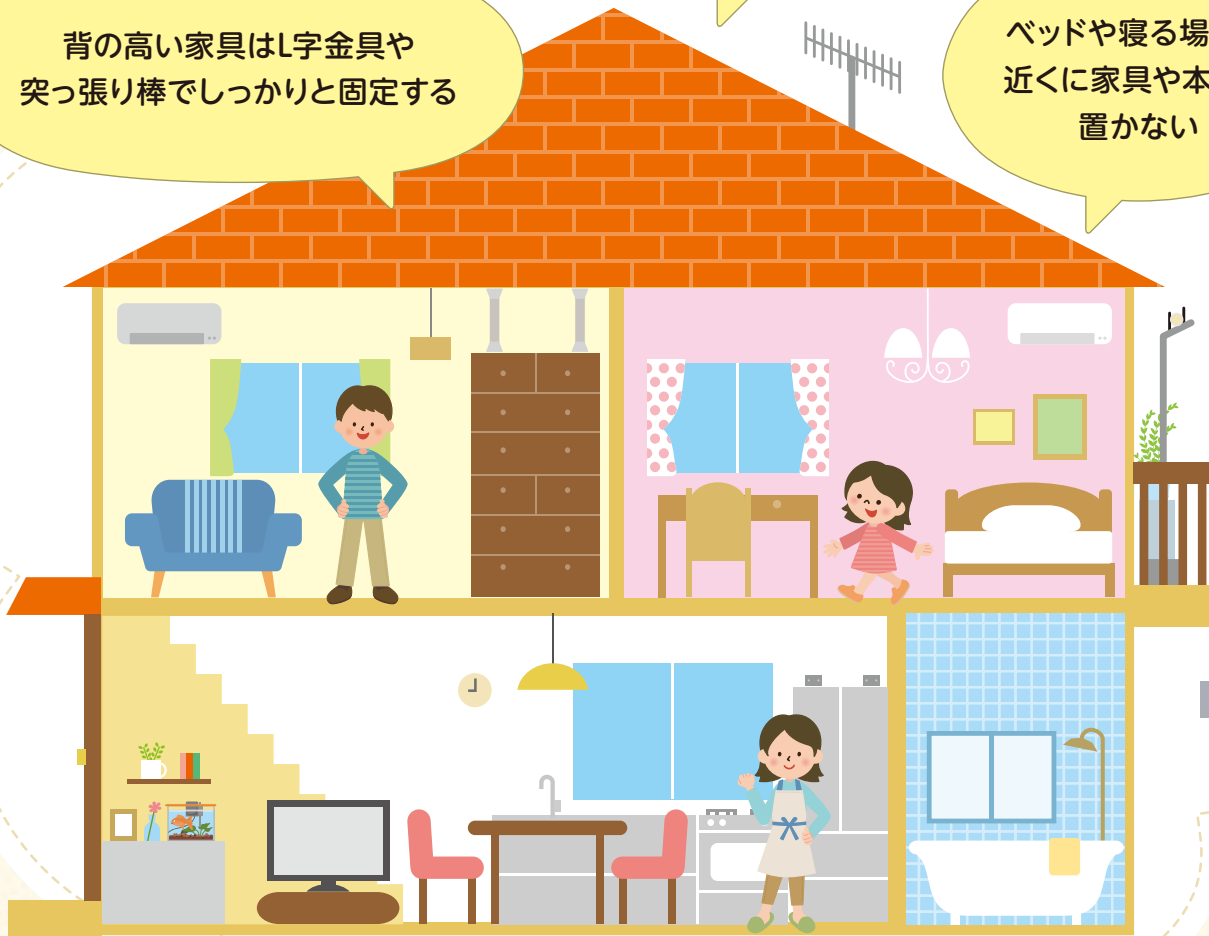
あなたのお家、大丈夫？

～住まいの安全対策を考えよう～

お家の耐震性を確認する

背の高い家具はL字金具や
突っ張り棒でしっかりと固定する

ベッドや寝る場所の
近くに家具や本棚を
置かない



高い場所に
物を置かない

ブロック塀の
安全点検をする



瀬戸市役所 都市計画課

あなたのお家、地震に耐えられますか？

阪神・淡路大震災では、地震による死者のうち約8割が家屋の倒壊等による窒息・圧死などでした。

また、死者の5割近くが65歳以上の高齢者でした。家が丈夫だったら助かった高齢者がたくさんいます。

家が地震で倒れると通行人に被害が出たり、避難路をふさいでしまいます。自分の家を地震に対して強くすれば、自分の命を守るだけでなく、地域全体の安全性を上げることにつながります。



では、どうすればいいの？

STEP1 まずはお家の耐震性を確認しましょう

Q1 あなたの所有している住宅はいつ建てましたか？

- 1 昭和56年5月31日以前に着工
- 2 昭和56年5月31日以降に着工

2の方 耐震性の高い建築基準で設計されていると思われます。

1の方

Q2 あなたの所有している住宅は、どのような住宅ですか？

- 1 一戸建て木造住宅(在来軸組み工法及び伝統工法)
- 2 木造長屋、木造共同住宅(在来軸組工法及び伝統工法)
- 3 その他の住宅(プレハブ、ツーバイフォー、鉄骨造など)

3の方

耐震性を確認したい方は、設計者又は建設業者に相談して下さい。

1 2の方

Q3 専門家耐震診断(無料)を希望しますか？

- 1 希望する
- 2 希望しない

2の方 住宅の耐震化に努めてください。

1の方



せっかく無料で診断を受けられる権利があるので、利用しなきゃ損！

市の無料診断に申し込みましょう！

STEP2 耐震性が足りなかったら改修方法や費用について専門家に相談しましょう

誰に頼んだらいいの？ どのような工事になる？

一般的には壁を強くしたり、屋根を軽くする工事が効果的と言われています。下記のサイトで改修事例や実施した業者を紹介しています。

あいち耐震改修ポータルサイト



(URL: <http://aichi-nbai.com/>)

耐震改修に意欲的で技術力を有する事業者を探したり、改修事例を見ることができます。

愛知県建築物地震対策推進協議会



(URL: <http://www.aichi-jishin.jp/>)

県、市町村の補助制度を活用して改修工事を実施した業者を紹介しています。

また、瀬戸市では耐震改修工事費補助の制度があります。詳しくは都市計画課までお問い合わせください。耐震改修をすると、税の優遇措置を受けられる場合があります。

事例紹介①	特定の部分に限定して補強		
従来の問題点	築40年が経過し、15年以上前に増築と改築を行った住まい。耐震上問題がありました。		
延べ床面積	198.05㎡	費用	137万円

こんな家に生まれ変わりました

人命を守るという観点から、少しでも丈夫な住まいにするため、一部の部屋に限定して壁の補強を行い、一部は床下の基礎と2階の梁に達するよう補強しました。



壁と基礎を補強し強い壁をつくりました。



事例紹介②	限られた費用で寝室のみ耐震シェルターを設置する		
従来の問題点	耐震性が足りないと診断されたけど、高齢者世帯のため大規模な改修をする費用がない。		
延べ床面積	約7㎡	費用	約36万円

こんな家に生まれ変わりました

寝室に耐震シェルターを設置して安全性を確保。孫が遊びに来てても安心!

実験の様子



地震発生!



耐震シェルターとは？
お家の中につくる地震に強い空間（一時的な避難場所）です。

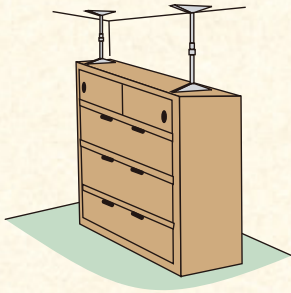


建物が壊れてもシェルター-内にいれば大丈夫

STEP3 お金がかかるので断念するしかない?

家具の転倒防止器具を用いて家具を固定したり、寝室などに背の高い家具を置かないことも人命を守るためには重要です。

✔ ポール式器具で固定する



壁面へのネジ留めができないときは、天井と家具の間に突っ張り棒タイプの器具をはさむ固定法が使えます。この場合、天井までの距離が短いほど安定感が増します。家具の両側の側板部の奥側に設置しましょう。

✔ レイアウトに注意する



寝室で家具の固定ができない場合にはレイアウトを工夫して、家具の転倒方向と寝る位置が重ならないようにしましょう。

地震に備えてブロック塀の安全対策をしましょう

平成30年に起きた大阪南部地震ではブロック塀が倒壊する事故が発生しました。

みなさんの周りにあるブロック塀は、見かけはしっかりしていても安全性に欠けるものがたくさんあります。危険なブロック塀をなくすよう、ブロック塀の自己点検を行いましょう。

✔ Check!

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ぐらつきがある | <input type="checkbox"/> 控え壁がない |
| <input type="checkbox"/> 傾いている | <input type="checkbox"/> 基礎がない |
| <input type="checkbox"/> ひび割れがある | <input type="checkbox"/> 塀の高さが2.2mを超えている |
| <input type="checkbox"/> 塀の厚さが10cm未満
(高さが2m超は15cm未満) | <input type="checkbox"/> 塀に鉄筋が入っていない |

気になることや分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。



住んでいるところの安全性を知ろう

自分の住んでいるところの特徴を知ることは、災害に対する家庭や地域の防災力の向上につながります。

瀬戸市防災ガイドマップ

地震と風水害に対して、危険度、避難所、地震や風水害に備えるための基礎的な情報などを知ることができます。瀬戸市危機管理課で配布しています。

愛知県HP「マップあいち」

暮らし・安全マップでは土砂災害などに関する情報を知ることができます。

(URL:<https://maps.pref.aichi.jp/>)



お問い合わせ先 瀬戸市役所 5階 都市計画課 TEL:0561-88-2686

